

第3 地域における障害者医療・福祉のサポートの概要

1 外部向け研修会・講習会・公開講座等の実施状況

(1)				「明日からできる脊髄損傷」研修会	
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師など		
目的	脊髄損傷のリハビリテーションの関わりにあたり、臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化して実施する。	日時	①R5. 4. 28（金）18:30～19:45 ②R5. 5. 12（金）18:30～19:45 ③R5. 8. 4（金）18:30～19:45 ④R5. 9. 22（金）18:30～19:45 ⑤R6. 2. 2（金）18:30～19:45		
		場所	オンライン開催		
		参加人数	①105名、②111名、③100名、④93名、⑤56名		
内容					
①明日からできる脊損診療の診かた（診療部 センター長 菊地尚久）					
②明日からできる脊髄損傷の評価 （リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、主任作業療法士 神保和正）					
③明日からできる頸髄損傷の理学療法 （リハビリテーション治療部 上席理学療法士 鈴木謙太郎、作業療法士 八木貫太）					
④明日からできる頸髄損傷の作業療法 （リハビリテーション治療部 主任作業療法士 吉村友宏、作業療法士 柴穂乃歌・横田翠）					
⑤明日からできる 脊損看護とソーシャルワーク （看護部 副看護師長 富岡久美、総合相談部 入退院支援室長 阿部里子）					

(2)				第5回せき損リハ・ケア研修会	
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	医師、理学療法士、作業療法士、看護師、介護福祉士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャーなど		
目的	千葉県内の脊髄損傷患者に対するリハビリテーションを発展させるため、当センターの脊髄損傷者に対するリハビリテーション支援の取り組みを紹介する。	日時	R5. 6. 24（土）9:30～15:45		
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 2F 大ホール		
		参加人数	28名		
内容					
①データから読み解く 脊髄損傷 リハ支援の視点～千葉県脊髄損傷データベースから見たこと～ （リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司）					
②症例を通した排泄支援の看護の実際（看護部 副看護師長 富岡久美）					
③脊髄損傷の退院支援～地域連携・病棟連携を中心に～（総合相談部 入退院支援室長 阿部里子）					
④実技・体験					
⑤情報交換会					

(3)				Chiba SCI Salon	
担当部署	脊損リハケアワーキンググループ	対象	千葉県脊損データベース参加施設		
目的	千葉県脊損データベースに参加登録している施設同士の交流の機会として実施する。このような機会を通じて、千葉県における脊髄損傷者に対するリハビリテーションの支援体制を強化すること。	日時	R6. 1. 26（金）18：00～19：30		
		場所	オンライン開催		
		参加人数	20名		
内容					
①千葉県版脊損データベースについて（リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司）					
②各施設紹介：県内9施設					

(4) 「明日からできる小児リハビリテーションのキホン」研修会			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、他
目的	小児リハビリテーションの関わりにあたり、セラピストが臨床で直ぐにでも活かせる研修をシリーズ化し小児リハの質を高めること、施設間の顔の見える関係性を構築すること。	日時	①R5. 5. 19（金）18:30～20:00 ②R5. 7. 28（金）18:30～20:00 ③R5. 9. 29（金）18:30～20:00 ④R6. 1. 19（金）18:30～20:00 ⑤R6. 3. 15（金）18:30～20:00
		場所	オンライン開催
		参加人数	①78名、②106名、③96名 ④64名、⑤97名
内容			
①ライフステージにおける小児リハビリテーションの視点 （リハビリテーション治療部 上席理学療法士 村山尊司）			
②未就学期のリハビリテーション （リハビリテーション治療部 主任作業療法士 川原佑亮、理学療法士 菊池佑維）			
③重症心身障害のリハビリテーション ～呼吸ケアを中心に～ （リハビリテーション治療部 科長 小川智美、主任理学療法士 須藤沙織）			
④小児リハの最新治療 （リハビリテーション治療部 主任作業療法士 川原佑亮、理学療法士 千葉彩加）			
⑤小児領域における食事支援 （リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田頭、言語聴覚士 廣瀬綾奈）			

(5) 小児リハビリテーションに必要な基本的技術講習会			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、他
目的	小児リハビリテーションに必要な基本的技術習得を目的として実技講習会として実施した。	日時	R5.11.26（日）9:20～16:00
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 2F 大ホール、小児療法室、他
		参加人数	60 名
内容			
5 つの技術体験講習			
①小児の呼吸介助手技（リハビリテーション治療部 科長 小川智美、主任理学療法士 伊藤薫）			
②重症心身障害児・者の姿勢ケア （リハビリテーション治療部 科長 宮原なおみ、理学療法士 道家咲楽）			
③小児で使える支援機器の体験（視線入力、デジリハなど） （リハビリテーション治療部 科長 三屋邦明、言語聴覚士 馬場真貴子）			
④摂食支援方法（自助具など） （リハビリテーション治療部 上席作業療法士 吉田顕、作業療法士 永瀬千春）			
⑤子どもの「動く」を支援する方法（Baby loco、スパイダーなど） （リハビリテーション治療部 理学療法士 菊池佑維・千葉彩加）			

(6) 認定理学療法士臨床認定カリキュラム（脊髄障害）			
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士
目的	認定理学療法士（脊髄障害）取得のための必須受講講座として開講した。	日時	①R5. 12. 25～R6. 1. 31（オンデマンド配信） ②R6. 2. 11（日）～2. 12（月）
		場所	①オンデマンド配信 ②現地開催（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児療法室）
		参加人数	2 名
内容 ①15 講座（1 講座 90 分）のオンデマンド講義 ②実技講習（5 コマ） （リハビリテーション治療部 副部長 村山尊司、科長 戸坂友也・高浜功丞、主席理学療法士 鈴木謙太郎、主任理学療法士 藤平智也・佐藤大幸・丹治千尋、理学療法士 土井佑夏、後藤拓也、診療部 センター長 菊地尚久）			

(7)	認定理学療法士臨床認定カリキュラム（発達障害）		
担当部署	リハビリテーション治療局	対象	理学療法士
目的	認定理学療法士（発達障害）取得のための必須受講講座として開講した。	日時	①R5. 12. 1～12. 31（オンデマンド配信） ②R6. 1. 7（日）～1. 8（月）
		場所	①オンデマンド配信 ②現地開催（千葉県千葉リハビリテーションセンター小児療法室）
		参加人数	15 名
内容 ①15 講座（1 講座 90 分）のオンデマンド講義 ②実技講習（5 コマ） （リハビリテーション治療部 科長 小川智美、主席理学療法士 北村千里、上席理学療法士 大矢祥平・石田純、主任理学療法士 後藤達也・石田麗子、診療部 第一小児神経科部長 田邊良）			

(8)	成人期職員研修会		
担当部署	総合療育センター	対象	成人期を迎えている脳性まひ等の方が通う県内の障害者利用施設職員
目的	千葉県内の障害者利用施設に携わる看護師、介護福祉士、保育士等に対して各職種による支援の講義や、各事業所での課題解決に向けた研修を行う。	日時	R6.1.13（土）9：30～15：55
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 3階 研修室
		参加人数	24名
内容			
①加齢による身体面の変化（小児整形外科医師）			
②多職種でおこなう健康管理について（看護師）			
③安全な利用者支援に向けた取り組み（生活援助員）			
④精神的不調に寄り添うために知っておきたいこと			
⑤実技デモンストレーションビデオ（PT/OT/ST）			
・体験してみよう麻痺のある体とその介助法			
・摂食介助のポイント			
・いろいろなコミュニケーションツール			

(9)		療育支援研修会	
担当部署	総合療育センター	対象	障害児支援（主に運動障害）に携わる保育士等
目的	千葉県内の未就学の障害児支援に携わる保育士や支援者に、摂食を中心にした支援の手助けや、また課題解決に向けた研修を行う。	日時	R5.10.21（土）9：30～15：45
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 2階 大ホール
		参加人数	35 名
内容			
例年は摂食の実技や障害児の遊び等の講義を行っていた。令和3年度よりコロナ感染防止に伴い時間短縮、講義のみの研修を行った。令和4年度は初のオンライン形式での実施としたが、令和5年度は3年ぶりに現地開催で実技を含んだ研修を再開することができた。			
①小児の摂食・嚥下障害のまとめ（病態やリスク管理を含めて）について（診療部 第二小児神経科部長 湧井敦子）			
②口腔機能の発達と障がいのある児の食事援助（リハビリテーション治療部 作業療法士 吉田顕 強口朋美）			
③障害のある子どもたちの遊びと姿勢援助（児童発達支援センター 保育士 奥村敬子）（リハビリテーション治療部 理学療法士 菊澤 似津子）			
④障害のある子どもたちの遊びとコミュニケーション（リハビリテーション治療部 言語聴覚士 須田 真紀）			
⑤偏食・拒食について（看護部 主席看護師 青木ゆかり）			

(10)	こどものリハビリ多職種勉強会		
担当部署	総合療育センター	対象	小児リハに関わる多職種
目的	小児リハビリにおける多職種での学びとお互いの質を高める	日時	R5.9.23（土）9:00～12:30
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター 2 階 大ホール
		参加人数	65 名
テーマ：小児痙縮治療			
第 1 部 講演「痙縮治療総論と沖縄での脳性麻痺多職種連携について」 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 整形外科 金城健 先生			
第 2 部 報告 「当センターにおける小児痙縮治療の実際」 千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児神経科 田邊良 千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 手塚洋佑			
第 3 部 症例検討会（グループワーク）			

(11)	第 21 回脊髄損傷リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	地域リハ推進部	対象	脊髄損傷当事者、家族、支援者他
目的	自動車事故により脊髄損傷などの後遺障害を被った者の早期職場復帰・社会参加の実現のため、講習会の開催を通じて、被害者とその家族、支援者等への情報提供や情報交換の場を提供すること	日時	R5. 12. 11(月)～12. 24（日）
		場所	オンデマンド配信
		参加人数	336 名
内容 テーマ「脊髄損傷者の生活の実際～自動車への乗り移り～」			
①講演「どうする？自動車への乗り移り」（千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 八木貴太）			
②動画「自動車への移乗動作」（全国脊髄損傷者連合会 千葉県支部作成）			
③座談会「自動車への乗り移りのリアルを聞いてみよう！」			
（全国脊髄損傷者連合会千葉県支部 露崎耕平氏、佐藤翔太氏、尾崎ひかる氏）			

(12)	全国地域リハビリテーション合同研修大会 in ちば 2023 (合同開催 第 17 回千葉県地域リハビリテーションフォーラム)		
担当部署	地域リハ推進部	対象	地域リハ広域支援センター他
目的	県内の地域リハ推進の一助とするため、千葉県での取り組みを全国に発信すること、並びに全国の地域リハ関係者と一緒に学び、意見交換の場を作ること	日時	R5. 6. 17(土)～18 (日)
		場所	幕張メッセ国際会議場
		参加人数	113 名
内容 テーマ「ヤバイぜ！地域リハ～継続と発展～」 活動紹介 千葉県の地域リハビリテーション支援体制と活動、課題 ポスターセッション 全員参加企画① 「地域リハビリテーションをどう説明しますか？」 教育講演 「地域リハビリテーションを問い直す」 (国際協力機構 (JICA) 久野研二氏) 全員参加企画② 「地域リハの「ヤバイ」と「やばい」その 1・その 2」 シンポジウム 「これからの地域リハがヤバイ」 (広島、兵庫、京都、滋賀、千葉 府県リハ支援センター担当者)			

(13)	令和 5 年度地域リハビリテーション調整者養成研修		
担当部署	地域リハ推進部	対象	地域リハ広域支援センター ちば地域リハ・パートナー登録施設 千葉県高次脳機能障害支援拠点機関 市町村・地域包括支援センター 他
目的	暮らしの自立を支援するために必要な考え方を県内に啓発すること、および当センターでの高次脳機能障害支援で得られた知見を関係者に共有すること	日時	ライブ配信（R6. 2. 29（木）） オンデマンド配信（R6. 3. 4（月）～3/17（日））
		場所	WEB 開催
		参加人数	ライブ(38 名)、オンデマンド（102 名）
内容 テーマ「暮らしの自立に向けた支援～生活版ジョブコーチ支援の考え方と支援～」 （千葉県千葉リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援部 揚戸 薫）			

(14)	「地域リハビリテーションの効果的な提供に資する指標開発のための研究」報告会		
担当部署	地域リハ推進部	対象	全国の地域リハ関係者
目的	厚生労働科学研究補助金 長寿科学政策研究事業で取り組んだ、都道府県地域リハビリテーション支援体制の指標づくりに関する研究の報告会を開催。関係者からの意見を集約し、指標の改善に活かすこと	日時	R6.3.6（水）
		場所	MEETING SPACE AP 東京 八重洲（ハイブリッド開催）
		参加人数	59 名
内容	研究趣旨説明、研究成果の概要報告、指標に関する意見交換、総評		

(15)	高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 2023		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕	対象	高次脳機能障害者に対する支援を行っている千葉県内の支援者及び高次脳機能障害に関心がある支援者
目的	高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに連続で講座を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	第1回：R5. 7. 14（金） 第2回：R5. 9. 8（金）※ ※天候悪化によりオンデマンドで実施 第3回：R5. 11. 2（木） 第4回：R6. 1. 12（金）
		場所	千葉市民会館 小ホール
		参加人数	第1回：80名 第2回：90名 第3回：63名 第4回：61名
講義：座長（高次脳機能障害支援部 部長 長谷川純子） 第1回：概論：高次脳機能障害概論（診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理） ミニ体験「面談の見える化」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第2回：各論1「神経疲労（脳疲労）・注意障害」（高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫） ミニ体験「ナチュラルサポート」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第3回：各論2「記憶障害・遂行機能障害」（高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） ミニ体験「手順書作成」（高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫） 第4回：各論3「社会的行動障害」（東京福祉大学 教授 先崎章 氏） 「失語症」（リハビリテーション治療部 主任言語聴覚士 高橋誠貴）			

(16)	当事者・家族のための高次脳機能障害勉強会 2023		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族
目的	症状の理解と支援について、当事者や家族がわかりやすく短時間で学べることを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R5. 8. 7（月）～ 8. 27（日）
		場所	オンデマンド開催
		参加人数	121 名（外部の病院からの参加希望を含む）
講義：高次脳機能障害の主な症状と基本的な対応（講師：高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子） 第 1 回「脳疲労・注意障害・情報処理力の低下・記憶障害」 第 2 回「遂行機能障害・病識の低下・社会的行動障害」			

(17)	第 19 回高次脳機能障害リハビリテーション千葉懇話会（千葉県受託）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕	対象	医療機関、福祉機関、就労支援機関等の職員
目的	高次脳機能障害の正しい理解を促進するため、医療機関、福祉機関及び就労支援機関向けに懇話会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R5. 10. 13（金）
		場所	千葉市民会館 小ホール
		参加人数	97 名
講演「高次脳機能障害の精神症状／行動障害への対応～」 （座長：診療部 第一脳神経内科部長 赤荻英理） （講師：足利赤十字病院 精神科医 船山道隆 氏）			

(18)	第 6 回生活版ジョブコーチ支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 〔高次脳機能障害支援センター〕	対象	高次脳機能障害支援の携わる県内事業所勤務の支援者
目的	高次脳機能障害者の自立支援のための支援技法について、地域の支援機関・支援者に普及・啓発することを目的とする。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R5. 11. 15（水）
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	28 名
講義： ①概論「高次脳機能障害の特性と対応」（事前 WEB 視聴） ②講義「高次脳機能障害の方の地域生活支援 ～ 生活版ジョブコーチ支援 ～ 」講師：高次脳機能障害支援部 主席理学療法士 揚戸薫) ③グループワーク「生活版ジョブコーチ支援の視点で事例について考えましょう」			

(19)	第 7 回高次脳機能障害就労支援研修会		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター] 千葉リハ高次脳機能障害就労移行支援プロジェクト	対象	医療機関で働く専門職
目的	高次脳機能障害者の就労支援についての正しい理解を促進するため、地域の支援機関・支援者向けに研修会を開催し、普及・啓発活動を行うことを目的とする。 今年度は主に医療機関で働く専門職を対象に研修を実施した。 ※千葉県高次脳機能障害支援普及事業として開催	日時	R5. 11. 25
		場所	WEB 開催（ライブ配信）
		参加人数	68 名
1) 講義			
①「高次脳機能障害概論」 講師：高次脳機能障害支援部 部長 心理師 長谷川純子			
②「高次脳機能障害者への就労支援」 講師：高次脳機能障害支援部 主任作業療法士 岡本美希子			
③質疑応答			

(20)	第 20 回高次脳機能障害リハビリテーション講習会（日本損害保険協会助成事業）		
担当部署	高次脳機能障害支援部 [高次脳機能障害支援センター]	対象	当事者・家族・支援者
目的	当事者とその家族、支援者等への支援に役立つ情報提供や情報交換の場を提供することを目的とする。今年度は地域支援をテーマに講習会を企画・開催した。 ※日本損害保険協会の助成により開催	日時	R6.1.20（土）
		場所	千葉市文化センター アートホール
		参加人数	103 名
①講演：「地域支援者からみた高次脳機能障害」 （座長：診療部 センター長 菊地尚久） （講師：名古屋市総合リハビリテーション事業団総合相談部長 兼 なごや高次脳機能障害支援センター参事 小島一郎氏）			
②シンポジウム：「誰もが地域で暮らすために」 （座長：高次脳機能障害支援部 部長 長谷川純子） （シンポジスト：(株)メロディ介護サービス サービス提供責任者 介護福祉士 二宮夏代氏 ちば高次脳機能障害者と家族の会 代表 角田義規氏 特定非営利活動法人 C' s コミュニティ 代表 津田祐子氏			

(21)	令和5年度第2回職場適応援助者養成研修修了者サポート研修 令和5年度第2回職場適応援助者スキル向上研修修了者サポート研修		
担当部署	地域支援センター 就労支援部	対象	訪問型ジョブコーチ、企業在籍型ジョブコーチ、配置型ジョブコーチ、障害者職業カウンセラー、障害者就業・生活支援センター職員
目的	職場適応援助者（ジョブコーチ）養成	日時	R5.11.29（水）14:00～16:00
		場所	千葉障害者職業センター5階会議室
		参加人数	33名
高次脳機能障害者に対するジョブコーチ支援について （地域支援センター 就労支援部 就労支援室長 中島光喜）			

(21)	市町村職員研修兼第一回コーディネーター連携会議		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぼらりす	対象	①医療的ケア児等に対し、保健、医療、障害福祉、保育、教育、防災等を担当する市町村職員 ②医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者
目的	医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等の支援に関する保健、医療、障害福祉、保育、教育、防災等の市町村担当職員が、医療的ケア児支援法の意図するところを念頭に、自地域の現状・課題を理解し、行政横断的に連携し重点的に進めるべき取り組みの方向性を検討すること。また、地域において配置が期待されている医療的ケア児等コーディネーターを活用し、有機的に協働し、医療的ケア児等の福祉が向上することを目的とし、研修会を開催。	日時	R5. 6. 9
		場所	オンライン開催
		参加人数	市町村職員 166 名 コーディネーター29 名
内容			
①医療的ケア児法と市町村の役割（千葉県健康福祉部障害福祉事業課療育支援班 吉橋由午氏）			
②重症心身障害児者および医療的ケア児者の特徴・医療的ケアについて （千葉県医療的ケア児等支援センターぼらりす センター長 石井光子）			
③相談支援の実際と、医療的ケア児等コーディネーターの役割 （千葉県医療的ケア児等支援センターぼらりす コーディネーター 佐藤郁夫）			
④ご家族・ご本人を取り巻く環境と地域の課題 （ご本人・ご家族より 神子美里様（ご家族） 野田匠様（ご本人） 野田玲子様（ご家族） 淀縄喜代美様（ご家族））			
⑤重症心身障害児者および医療的ケア児者に求められる支援と市町村の役割 （千葉県医療的ケア児等支援センターぼらりす コーディネーター 景山朋子）			
⑥香取地域の取り組み「官民協働による協議の場の開催と災害支援」 （香取広域基幹相談支援 センター長 辻内沙由里氏 神崎町保健福祉課）			
⑦安房地域の取り組み「地域の医療的ケア児者とその家族を支える支援体制づくり・個別避難計画の策定の取り組み」 （株式会社てとて相談室 代表 加藤亜矢氏 南房総市社会福祉課）			
⑧千葉市の取り組み「基幹相談支援センターを中心とした医療的ケア児等への支援体制づくり」 （中央区基幹相談支援センター 社会福祉法人りべるたす 理事長 伊藤佳世子氏 千葉市障害福祉サービス課）			

(22)	医療的ケア児のための学校の看護師及び教員研修会		
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児のために市町村立小中学校に配属された看護師 ②医療的ケア児が在籍している市町村立小中学校の養護経論または管理職 ③市町村教育委員会担当者
目的	県内の市町村立小中学校に配属されている看護師及び養護教諭等に対し、学校における看護師の役割と看護管理について研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R5. 7. 29
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	46 名
内容			
①医療的ケア児についての理解（千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児神経科 石井光子）			
②糖尿病管理について（千葉県こども病院 内分泌科 鮎田香子氏）			
③先天性心疾患について（千葉県こども病院 循環器内科 東浩二氏）			
④学校における医療的ケア児教育の実際 （医療法人財団はるたか会 Nurse Fightプロジェクト担当 看護師 植田陽子氏）			
⑤学校における看護師の役割と看護管理 （千葉市養護教育センター スクールメディカルアドバイザー 杉本景子氏）			
⑥就学相談から入学までの流れ「相談支援の実際」 （千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす コーディネーター 佐藤郁夫）			
⑦医療的ケア児のリハビリテーション （千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす 理学療法士 大矢祥平）			

(23)	医療的ケア児等を支援する看護師等の実技研修会		
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	県内の保育所、認定こども園、小中学校、特別支援学校、障害福祉事業所、介護保険事業所などに勤務する看護師
目的	県内の保育所、認定こども園、小中学校、特別支援学校、障害福祉事業所、介護保険事業所などに勤務する看護師もしくは勤務予定のある看護師に対し実技研修をおこない必要な知識・技術の習得を目的とする	日時	第一回 R5. 8. 19 第二回 R5. 9. 8 第三回 R5. 11. 17
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	第一回 22 名 第二回 53 名 第三回 38 名
内容			
実技研修事前講義			
①糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
②カニューレ・胃ろう・呼吸器・用手換気 （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
③呼吸介助・排痰介助（千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす 理学療法士 大矢祥平）			
実技研修			
カニューレ交換→用手換気			
胃ろう交換→ミキサー食注入			
糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
パーカッサーと排痰補助装置（カフベンティックジャパン株式会社）			
人工呼吸器（フィリップスジャパン）			
酸素ボンベ・液体酸素交換（巴商会）			
呼吸理学療法			
姿勢管理 （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子、千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児神経科部長 田邊良、小児科部長 小島佳奈、副看護部長 栗林欣子 柳沼美穂、看護部看護師長 佐久間真弓、森下由香里、藤代文江、松岡大樹、理学療法士 大矢祥平）			

(24)	医療的ケア児のための保育所等の看護師および保育士研修会		
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児のために保育所、認定こども園、通園施設などに配置された、また配置予定の看護師 ②医療的ケア児の在籍予定の保育所、認定こども園、通園施設などの保育士や管理職、行政担当
目的	県内の保育所等に配置されている看護師および保育士等に対し、保育所等における看護師及び保育士の役割について研修を行い、医療的ケア児への理解を深める。	日時	R5. 9. 2
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター→オンラインに変更
		参加人数	131 名
内容			
①医療的ケア児についての理解（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子） ②期間軟化症・摂食障害・神経因性膀胱（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子） ③糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科 鮎田香子氏） ④先天性心疾患について（千葉県こども病院 循環器内科 東浩二氏） ⑤未就学児保育における看護管理（千葉県立保健医療大学看護学科 市原真穂氏） ⑥保育園における医療的ケア児看護の実際①（習志野市大久保保育園 看護師 飯田真奈美氏） ⑦保育園における医療的ケア児看護の実際②（小倉台保育園 保育士 高村千春氏） ⑧医療的ケア児の保育の実際（千葉県千葉リハビリテーションセンター 保育士 子安益代） ⑨医療的ケア児のリハビリテーション （千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす 理学療法士 大矢祥平） ⑩相談支援の実際（千葉県医療ケア児等支援センター コーディネーター 佐藤郁夫）			

(25)	医療的ケア児等を支援する訪問看護ステーション及び介護老人保健施設看護師等研修（講義）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等 ②医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない老人保健施設等の看護師等
目的	医療的ケア児等が地域で安心して在宅療養ができるよう訪問看護等を行う看護師等の職員を育成することにより、医療的ケア児等の医療・福祉の向上を図ることを目的とする	日時	R5. 11. 23
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	24 名
内容			
①医療的ケア児についての理解（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子） ②医療的ケア児等への看護倫理（千葉科学大学 教授 市原真穂氏） ③呼吸障害と摂食嚥下障害へのアプローチ（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子） ④医療的ケア児の訪問看護の実践（訪問看護ステーションびいす 管理者 塚田典子氏） ⑤老健施設における医療的短期入所の実践（老人保健施設 花見川静山園 相談員 大和田雄太氏） ⑥医療的ケア児等の在宅生活に必要な支援 （千葉県医療ケア児等支援センター コーディネーター 佐藤郁夫） ⑦超重症児のアセスメント及び急変時の対応（千葉県こども病院 看護師 初芝寿子氏） ⑧障害児のリハビリテーション（千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 大矢祥平）			

(26)		医療的ケア児等を支援する訪問看護ステーション及び介護老人保健施設看護師等研修（実技）	
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	①医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない訪問看護ステーションの看護師等 ②医療的ケア児等の受入れを検討している、又は受入れ経験の少ない老人保健施設等の看護師等
目的	医療的ケア児等が地域で安心して在宅療養ができるよう訪問看護等を行う看護師等の職員を育成することにより、医療的ケア児等の医療・福祉の向上を図ることを目的とする	日時	R5. 12. 23
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	31 名
内容			
実技研修事前講義			
①カニューレ・胃ろう・呼吸器・用手換気・導尿・吸引 （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
②糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
③姿勢管理と排痰ケア（千葉県医療的ケア児等支援センターばらりす 理学療法士 大矢祥平）			
実技研修糖尿病管理			
①カニューレ交換、用手換気、吸引			
②胃瘻交換、ミキサー食注入			
③糖尿病管理（千葉県こども病院 内分泌科部長 数川逸郎氏）			
④酸素ボンベ・液体酸素交換（巴商会）			
⑤人工呼吸器・排痰補助装置（フィリップスジャパン・カフベンディックジャパン株式会社） （千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子、千葉県千葉リハビリテーションセンター 小児神経科部長 田邊良、小児科部長 小島佳奈、副看護部長 栗林欣子 柳沼美穂、看護部看護師長 佐久間真弓、森下由香里、藤代文江、松岡大樹）			

(27)	医療的ケア児等を支援する潜在看護師等の人材育成研修会（講義）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターばらりす	対象	未就業の潜在看護師等（就業先が決定している看護師等も含む）
目的	未就業看護職の再就業に対する不安を払拭し、保育所や学校など医療的ケア児等が集団生活をおくる場への就業を円滑にするため、最新の看護の知識および技術を学習する機会とすること	日時	R6. 3. 6
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	41 名
内容			
①医療的ケア児を取り巻く現場について（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
②障害のある子どもの成長と発達の特徴（千葉県千葉リハビリテーションセンター 副看護部長 栗林欣子）			
③医療的ケア児支援における看護師の役割：未就学児通園 （千葉県千葉リハビリテーションセンター 副看護部長 栗林欣子）			
④医療的ケア児支援における看護師の役割：保育所（明德土気こども園 看護師 妹尾直子氏）			
⑤医療的ケア児支援における看護師の役割：市町村小学校 （千葉市養護教育支援センター スクールメディカルアドバイザー 杉本景子氏）			
⑥医療的ケア児支援における看護師の役割：特別支援学校 （県立袖ヶ浦特別支援学校 看護師 和田成美氏、佐野衣絵氏）			
⑦医療的ケア児の姿勢について（講義・実技） （千葉県千葉リハビリテーションセンター 理学療法士 大矢祥平）			

(28)	医療的ケア児等を支援する潜在看護師等の人材育成研修会（実技）		
担当部署	医療的ケア児等支援センターぽらりす	対象	未就業の潜在看護師等（就業先が決定している看護師等も含む）
目的	未就業看護職の再就業に対する不安を払拭し、保育所や学校など医療的ケア児等が集団生活をおくる場への就業を円滑にするため、最新の看護の知識および技術を学習する機会とすること	日時	R6.3.11
		場所	千葉県千葉リハビリテーションセンター
		参加人数	30名
内容			
①事前講義（千葉県医ケア児等支援センター センター長 石井光子）			
②酸素ボンベの交換（巴商会）			
③経管栄養チューブ挿入・滴下注			
④胃瘻ボタン挿入・注入			
⑤機関カニューレ挿入			
⑥吸引（気管・鼻口）			
⑦男性導尿			
⑧女性導尿			
⑨車椅子操作			
（千葉県千葉リハビリテーションセンター医師、副看護部長 栗林欣子 柳沼美穂、看護師長 藤代文江 佐久間真弓 松岡大樹、理学療法士 大矢祥平）			